

## »在宅酸素療法時における火災予防上の留意事項について

---

在宅酸素療法時に使用する酸素濃縮装置、液化酸素装置及び酸素ポンベの使用中に、喫煙等火気使用が原因と考えられる火災が発生しています。

これまでも厚生労働省医薬・生活衛生局及び日本産業・ガス協会等において注意喚起が行われています。

在宅酸素療法を行う際は、酸素吸入時の火気の手扱いについて、以下の事項に十分注意してください。

### 《在宅酸素療法時の注意事項》

1. 高濃度の酸素を吸入中に、**たばこ等の火気を近づけるとチューブや衣服等に引火し、重度の火傷や住宅の火災の原因となります。**
2. 酸素濃縮装置等の使用中は、**装置の周囲 2 m以内には、火気を置かない**で下さい。特に**酸素吸入中にはたばこを絶対吸わない**で下さい。
3. 火気の手扱いに注意し、取扱説明書どおりに正しく使用すれば、酸素が原因でチューブや衣服等が燃えたり、火災になることはありませんので、過度に恐れることなく、医師の指示どおりに酸素を吸入して下さい。